

環日本海連続講座/2010 10月 → 2011 2月

講師

◆
李 建志 氏

関西学院大学社会学部教授

朝鮮近代文学と 出会おう

第1回

10月30日 土

李光洙の小説『無情』について —朝鮮近代文学の嚆矢—

第2回

12月18日 土

ハンゲル・ミステリー事始め —金来成という作家—

第3回

2月19日 土

朝鮮文壇の空気 —1930年代のソウル—

時間/午後2時～4時

会場/米子市立図書館 大会議室 【参加無料】

〒683-0822 米子市中町8番地

【主催・問合せ】

鳥取県立図書館/TEL (0857)26-8155 FAX (0857)22-2996
<http://www.library.pref.tottori.jp/>

米子市立図書館/TEL (0859)22-2612 FAX (0859)22-2637
<http://www.yonago-toshokan.jp/>

|とっとり県民カレッジ連携講座|

朝鮮近代文学と出会おう

19世紀半ばより、北東アジア三国では開国が始まり、近代化への道を進むようになった。近代文明の摂取で先んじた日本には、中国と朝鮮から知識人たちが送られ、彼らの多くは日本を通して「近代」に出会った。特に、旧韓末から植民地期までの朝鮮では、文学者たちが日本での留学経験や文芸思潮などから強い影響を受けつつ、朝鮮語あるいは日本語により作品を書き残している。

本講座では、日本語に訳されている小説を使って、朝鮮文学の世界を紹介する。朝鮮近代文学の嚆矢とされる李光洙(1892~1950)の小説『無情』より入り、次に朝鮮における探偵小説の発生と展開を、戦前に日本で登場した作家の金来成(1909~1958)にみていく。最終回では、日本の支配が進んだ1930年代のソウルを背景に、いくつかの短編小説から朝鮮文壇の空気に触れる。

スケジュール

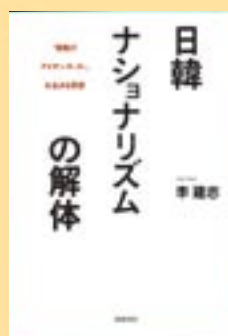
第1回 10月30日(土) 李光洙の小説『無情』について —朝鮮近代文学の嚆矢—

第2回 12月18日(土) ハングル・ミステリー事始め —金来成という作家—

第3回 2月19日(土) 朝鮮文壇の空気 —1930年代のソウル—



『朝鮮近代文学とナショナリズム
—「抵抗のナショナリズム」批判』
(作品社 2007年)



『日韓ナショナリズムの解体
「複数のアイデンティティ」を生きる思想』
(筑摩書房 2008年)

【講師紹介】

李 建志 氏

1969年 東京生まれ
1992年 中央大学文学部哲学科卒業
1994年 東京大学大学院総合文化研究科修士課程修了
2000年 同大学院総合文化研究科博士課程単位取得満期退学
1997~2000年 韓国延世大学大学院国語国文学専攻博士課程単位取得退学
専攻：比較文学比較文化・朝鮮文学朝鮮文化
2000年 京都ノートルダム女子大学人間文化学部専任講師
2003~2010年8月 県立広島大学人間文化学部准教授
2010年9月~ 関西学院大学社会学部教授